

弘前大学学報



文京町 弘前大学学生広場

第 57 号
平成20年12月号

学内ニュース

- 学長の年末の挨拶 ----- 1
- 西目屋村と連携に関する協定を締結 ----- 4
- 「弘前大学走友会」に大学表彰を授与 ----- 5

諸 会 議 ----- 6

人 事

- 人事異動 ----- 9

主要日誌 ----- 10

学内規程 ----- 11

- 弘前大学における組織評価の基本方針の制定
- 弘前大学組織評価実施要項（平成20年度実施分）の制定
- 弘前大学保育園規程の一部改正
- 弘前大学学則の一部改正
- 弘前大学入学試験運営細則の一部改正

平成 20 年 学長の年末の挨拶

平成 20 年 1 2 月 2 6 日
弘前大学長 遠藤 正彦



本日は、国立大学法人弘前大学の平成 20 年仕事納めの日であります。学長として、この一年をふり返って、反省をこめてご挨拶を申し上げます。

まず、この平成 20 年において、国立大学法人化後の、第 1 期中期目標・中期計画の期間終了前評価を受けるため、全学を挙げてこれに対処していただき、幾つかの問題を残しながらもこれを終了したことに、学長として全教職員に対し、心からの感謝の意を表します。さて、この一年間の所感を申し述べます。

【中期目標・中期計画期間終了前評価】

只今申し上げました通り、今年には特に、「平成 19 年事業年度に係る業務の実績及び中期目標期間（平成 16 - 19 事業年度）に係る実績に関する報告書」を文部科学省に提出し、国立大学法人評価委員会のヒアリング後、同評価委員会より「平成 19 年度に係る業務の実績に関する評価の結果について」として通知を受けました。評価結果には、4つの課題があるとされました。第 1 は大学院博士課程の学生収容定員の低い充足率、第 2 に教員業績評価の評価結果が賞与等へ反映されていないこと、第 3 に事務職員業績評価に係る評価実施の遅れ、第 4 に第 3 次事務組織再編実施の遅れであります。そして、大学院博士課程の充足率が 90 %を満たさないワースト 9 法人の一つとなり、誠に残念な結果となりました。

このことは、第 2 期中期目標・中期計画の資源配分に重大な影響を及ぼすもので、このためこの平成 20 年度の残された期間においては、本学全構成員に特段の努力をお願い致すところであります。

本学は第 2 期中期目標・中期計画の策定に入りました。これは、全学の教職員の意志を統一する意味で、全学に渡る「中期目標・中期計画策定会議」において検討しているところであります。これに合わせて、本学のこれまでのありように対して「外部評価」を受けました。この外部評価に当たる評価委員の全員が、ごく最近まで国立大学法人大学もしくは公立大学の学長を務めており、国立大学法人化の中で、その問題点を良く認識された方々ばかりでありますので、国立大学法人としての弘前大学の問題がより鮮明になることが期待されています。

【財政】

本年も本学の運営費交付金は、基本的には効率化係数 1 %の減により減額になったところであります。しかし、概算要求を含む教育研究特別経費等の増額により、前年度比プラスの状況にありました。これは本学が概算要求に対し、全学の要求を精査し、マッチングを図り、予算獲得に向けて対処したことが功を奏したものと高く評価できます。

しかし、国の財政当局は運営費交付金の圧縮を図るべく効率化係数を 3 %まで引き上げる検討を進めていたところであり、本学は北東北 3 大学共同で平成 20 年 7 月 31 日に、この措置への反対声明を出したところであります。

平成 21 年度の運営費交付金の配分は、効率化係数 1 %減に留まりましたが、しかし、第 2 期中期目標・中期計画の運営費交付金の算定方法は、まだ公にされておりませんので、予断を許さないところであります。

【施設整備】

本学は平成 18・19 年度の補正予算において予想を超える配分を受け、文京町キャンパスでは人文学部の全面改修や総合教育棟の改修が完了、そして学園町キャンパスでは附属小・中学校の体育館の合築、また本町キャンパスでは医学部基礎校舎及び臨床研究棟の改修が進んでいるところです。本年 1 月より、附属病院の新築外来棟の供用が開始され、附属病院は一新しました。また、文京町キャンパスに社会貢献・産学連携の拠点となるインテリジェントビルの建築に、運営費交付金の目的積立金を充て、その建築が始まりました。

【教育】

少子化による入学志願者の減少は、本学にとっても重大な問題で、入学志願者倍率の年毎の減少が進んでおり、特に平成 20 年度の入学志願者倍率は大幅に減少しました。加えて、入学者の学力低下も指摘されているところでもあります。

学部学生の就職に関しては、平成 20 年 8 月 3 日発行の読売ウイークリーによれば、本学の人文学部の就職率は全国の人文学部の中で第 6 位、教育学部は全国で第 5 位、理工学部は全国の理工学部にあてはめると全国で第 3 位、そして同様に農学生命科学部は全国で第 7 位でした。（医学部医学科と保健学科については集計が記載されていませんでした。）有効求人倍率の特に低い本県において、本学学生の高就職率は、極めて高く評価されるべきものであります。しかし、この年末に襲った世界的大不況は本年度の就職に重大な影響を及ぼすものと予想されますので、関係者の一層のご配慮をお願い致します。

また、学部学生の課外活動も一層盛んとなってきました。本年第 8 回を迎えた弘前大学総合文化祭は、昨年より更に多い約 5,500 名の市民の参加を得て盛会でした。本年第 2 回を迎えた弘前大学芸術祭は、まだ会期の途中ではありますが、参加 11 団体中、学生の団体の参加は 8 件のほりました。

学部学生の卒業論文並びに大学院修士及び博士論文の中で、国際誌に公表されたり、またそれぞれの学会の学会賞を受賞するものが増えましたが、このことは学部・大学院での教育研究のレベルが著しく向上していることを示しているものであります。

しかし、本学の大学院の充足率の低いことは、先に国立大学法人評価委員会の評価にもあり、きわめて憂慮すべき問題であります。

また、教員免許状更新講習会の試行が、本年 7 月 26 日から 8 月 24 日にかけて、本学が担当して実施されました。新しい制度なので多くの課題がありますが、本学は「教員免許状更新講習支援室」を、本学の附置施設・センターの一つとして発足させ、この講習に対応することにしました。

【国際交流】

本年、国は「留学生増強 30 万人計画」を発表しました。実施の詳細はまだ明らかにされてはおりませんが、本学としても新しい対応を検討しなければならなくなりました。

本年の国際交流についての大きな動きの一つとして、本年 10 月、人文学部附属雇用政策研究センターを中心に、スウェーデンのカーlustad 大学との国際交流の覚書きが交わされ、同時に本学でインターナショナル・フォーラムが開催されました。

【研究】

20 年度は、概算要求または補正予算においても、研究に関わる予想以上の予算を受けて活気づきました。また、文部科学省科学技術振興調整費として理工学研究科の「医用システム開発マイスター養成塾」が採択されました。しかし、20 年度の科学研究費補助金の全体的採択数と配分額は、依然として低迷していましたが、平成 21 年度に向けて大幅に申請件数を伸ばしたことは朗報です。

弘前大学出版会も着実に出版件数を伸ばしており、また機器分析センターの機器の導入も着実に進んでいます。

また、小中高生の理科離れが危惧される折から、文京町キャンパスの各所に本学の研究成果を

陳列し、これを「サイエンス・パーク」として開放しました。また、小中高生から研究テーマを集めて本学教員と共に解決しようというプロジェクトとして「科学者発見プロジェクト」を始めました。この科学者発見プロジェクトは、市民から大好評で受け入れられています。

本年 10 月 2 日に独立行政法人放射線医学総合研究所と「緊急被ばく医療に関する協力協定」を結びました。本学は大学院医学研究科と保健学研究科を中心に、安心・安全の立場から放射線被ばく医療に取り組むことになり、文部科学省の予算措置も受けられたので、本格的被ばく医療の拠点大学となることが期待されます。

【産学連携・社会貢献】

更にこの 12 月 22 日に、本学は西目屋村と包括協定を結びました。このことにより「白神自然観察園」の設置と運営に関して、強い連携が得られることになりました。

【附属病院】

先にも述べましたように、医学部附属病院の新築されました外来棟が、本年当初より供用開始となりました。附属病院はこれで建物については完備したことになります。

そして、我国としては初めての緊急被ばく医療の任を持った高度救命救急センターとして、国立大学の中で 7 番目の施設が、平成 21 年度の概算要求の政府案の中に盛り込まれています。但し、附属病院の経営や高度救命救急センター等の診療体制には、まだ多くの課題があります。

学長自身にとりましては、この一年大変忙しい、そして緊張した年であったと思います。何よりも、第 1 期中期目標・中期計画の期間終了前評価報告書の提出と、その結果の通知、そして第 2 期中期目標・中期計画の策定が、この一年間のすべてを占めたように思います。

教育・学生については、20 年度の入学志願者倍率の低下が、そして年末を襲った世界的不況が学生や留学生の生活を危うくしているところですが、学生には既に実施していた無利子の融資制度、そして留学生には臨時給付制度によって対応しました。

しかし、この年末の平成 21 年度の概算要求内示と平成 20 年度の第 1 次及び第 2 次補正予算は、本学に朗報をもたらしました。この詳細は、後に財務・施設担当理事より報告がありますが、この平成 21 年度の概算要求と第 1 次・第 2 次補正予算の内容は、本学の第 2 期中期目標・中期計画における「機能別分化」としての本学のあり方に対して、好材料をもたらすものと思っています。

最後に、本年 11 月 4 日社団法人国立大学協会総会がこの弘前で開催されました。その際、多くの国立大学長が本学を見学しておりますが、この方々達が本学のきれいなキャンパスに目を見張り、また地方大学としての本学の歩みに賛辞を送ってくれたことを皆さんに報告し、これを拠り所として来年に希望をつないでいきたいと思います。そして来年は弘前大学創立 60 周年であり、弘前大学創立 60 周年記念事業後援会の支援のもとに記念行事の準備が進められているところです。

この一年間、誠に御苦勞様でした。皆様には御家族共に、希望の持てる新年を迎えられますよう祈念し、仕事納めの挨拶とします。

西目屋村と連携に関する協定を締結

12月22日本学は西目屋村と、相互の密接な連携と協力により、地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的として、連携に関する協定を締結しました。

調印にあたって、関西目屋村長から、協定締結を機に、白神自然観察園をはじめとして、総合的・包括的な連携を進め、西目屋村と弘前大学相互の発展に努力していきたいとの挨拶と、遠藤学長から、本学では従前より白神山地と関わりを持ってきたところであり、これからさらに世界自然遺産である白神山地に深く関わっていくことは最も近い国立大学である本学としての責務であると考え、西目屋村との連携を進めていきたいとの挨拶がありました。

調印式には、西目屋村から長利教育長、西澤総務課長が、本学からは藁科理事（総務担当）、小川理事（財務・施設担当）、須藤理事（教育・学生担当）、加藤理事（研究・産学連携担当）、花田学長特別補佐の他、各部局長が同席しました。



「弘前大学走友会」に弘前大学表彰を授与

「弘前大学走友会」は平成13年度に本学に勤務する職員で結成された団体であり、走ることで親睦を図り、その喜びを共有することを目的としており、現在の会員は12名（うち女子3名、このほかにOB7名）です。

これまでの活動は文部科学省関係機関等教職員駅伝競走大会への参加の他に、各種駅伝やマラソン大会へ参加しています。

文部科学省関係機関等教職員駅伝競走大会へは平成13年度～17年度まで5年連続出場しており、16年度の大会では5位入賞、2年ぶりの出場となった今年は、6位に入賞しました。

また、各種大会へ参加の際には、本学のスクールカラーである紫紺色のユニフォームを揃え参加するなど、本学の知名度の向上に貢献しています。

このたび、その活動が高く評価され表彰が決定し、12月22日（月）表彰式が行われました。

走友会を代表して財務部財務企画課工藤慶伸係長に、遠藤学長から表彰状と記念品が贈られ、本学のネームバリュー向上への感謝と更なる活躍を期待する言葉が述べられました。



左から、遠藤学長、藤田康寛（施設環境部施設企画課）、南羽真人（総務部企画課）、工藤慶伸（財務部財務企画課）、小野寺進（人文学部准教授）、石岡博幸（財務部契約課）、藁科理事

■ 諸 会 議

▼役員会

12月1日（月）

報告事項

- 1 平成21年度弘前大学推薦入学特別選抜の選考結果について

12月1日（月）

審議事項

- 1 組織評価について
- 2 西目屋村との連携に関する協定の締結について
- 3 新医師確保総合対策（平成18年8月）による医学部定員増に伴う教員の配置について

報告事項

- 1 大学院の定員充足率について
- 2 平成20年度計画の進捗状況・年度終了時の見通しについて
- 3 臨時国立大学法人財務担当理事等会議について
- 4 平成21年度弘前大学特別研究員募集について

12月8日（月）

審議事項

- 1 弘前大学学則の一部改正について
- 2 博士後期課程入学者研究助成について

報告事項

- 1 教育有識者懇談会（第5回）について

12月15日（月）

審議事項

- 1 組織評価について
- 2 「第二期中期目標・中期計画（中間まとめ）」の経営協議会への付議について
- 3 弘前大学表彰について
- 4 国立大学法人弘前大学課長等選考実施要領の一部改正について
- 5 弘前大学保育園規程の一部改正について
- 6 平成20年度予算実施計画の変更について
- 7 弘前大学特別研究助成制度（仮称）について
- 8 弘前大学私費外国人留学生特別研究助成制度（仮称）について

報告事項

- 1 平成21年度弘前大学特別研究員募集について

12月22日（月）

審議事項

- 1 組織評価について
- 2 平成22年度入学者選抜方法及び実施教科・科目等（案）について
- 3 弘前大学学則の一部改正について
- 4 平成20年度予算実施計画の変更について
- 5 国立大学法人弘前大学職員就業規則第83条の規程に基づく訓告等に関する取扱いについて

報告事項

- 1 平成20年度内部監査の結果について
 - 2 公的研究費の執行等に関する報告書について
-

-
- 3 平成19事業年度決算剰余金の繰越に係る大臣承認について
 - 4 平成19年度決算検査説明会について
 - 5 弘前大学私費留学生（正規生）緊急特別教育助成金について

▼教育研究評議会

12月9日（火）

審議事項

- 1 平成22年度入学者選抜方法及び実施教科・科目等（案）について
- 2 組織評価について
- 3 弘前大学学則の一部改正について

報告事項

- 1 教員の人事について
 - (1) 教員の採用・昇任
- 2 平成21年度大学入試センター試験志願者の本学への割当数について
- 3 新医師確保総合対策（平成18年度8月）による医学部定員増に伴う教員の配置について
- 4 西目屋村との連携に関する協定の締結について
- 5 弘前大学出版会の現状と今後の取り組みについて
- 6 委員会報告
 - (1) 21世紀教育センター運営委員会
 - (2) 学士課程教育協議会
 - (3) 教育・学生委員会
 - (4) 第2次臨時入学試験改善委員会
 - (5) 入学試験委員会
 - (6) 教育有識者懇談会
 - (7) 教育免許状更新講習支援室運営委員会・教員免許状更新講習実施委員会合同会議
 - (8) 研究・産学連携委員会
 - (9) 社会連携委員会
- 7 その他
 - (1) 平成21年度弘前大学推薦入学Iの選考結果に係る記者会見について
 - (2) 次回以降の開催予定について

▼教育・学生委員会

12月24日（水）

議 題

- 1 平成21年度総合文化祭実施等に伴う平成21年度学年暦について
- 2 学生担任制度の実質化について
- 3 教育に関する優秀教員及び成績優秀学生に対する表彰制度の導入について
- 4 その他

報告事項

- 1 追試験の基準の全学統一化について
 - 2 平成20年度FD講演会について
 - 3 平成20年度（第6回）FDワークショップについて
 - 4 平成20年度「公開授業・検討会」について
 - 5 都市計画道路3. 3. 7号弘前黒石線信号機及び横断歩道の設置について
 - 6 第2回学生相談を考える会について
 - 7 その他
-

▼21世紀教育センター運営委員会

12月18日（木）

報告事項

- 1 センター長報告
- 2 専門委員会報告
 - (1) 教務専門委員会
 - (2) FD・広報専門委員会
- 3 科目主任会報告
- 4 その他の報告

審議事項

- 1 平成20年度21世紀教育授業運営・担当評価について
- 2 放送大学との単位互換に係る読替表について
- 3 その他

人 事 異 動

[採 用]

発 令 年月日		氏 名	異 動 内 容
平成20年12月1日		鷲 谷 啓 彰	一般職員(学・教)
平成20年12月1日		池 永 五 月	助教(病) [平成25年11月30日まで]

[離 職]

発 令 年月日	現 職 (所属)	氏 名	異 動 内 容
平成20年12月31日	看護師(病)	葛 西 望	辞職
平成21年1月1日	教諭(附中)	阿 部 麗 子	退職 [平成20年12月31日限り任期満了]

[任用更新]

発 令 年月日	現 職 (所属)	氏 名	異 動 内 容
平成20年12月14日	教諭(附特)	葛 西 雄 太	教諭(附特) [平成21年3月31日まで]

[併 任]

発 令 年月日	現 職 (所属)	氏 名	異 動 内 容
平成20年12月1日	教授(医)	中 根 明 夫	大学院医学研究科附属動物実験施設長 [平成22年11月30日まで]

[育児休業]

発 令 年月日	現 職 (所属)	氏 名	異 動 内 容
平成20年12月14日	教諭(附特)	磯 崎 み ち る	平成22年3月31日まで

■ 主要日誌

- 1 2月1日 役員会
- 2日 教育有識者懇談会
- 8日 役員会
- 9日 運営会議
中期目標・中期計画策定会議
教育研究評議会
学士課程教育協議会
総合文化祭合同委員会
- 10日 平成20年度東北地区国立大学法人等補佐研修
公開授業検討会
- 11日 60周年記念学生参加事業専門委員会
平成20年度東北地区国立大学法人等補佐研修
- 12日 全学教員養成担当実施委員会
平成20年度東北地区国立大学法人等補佐研修
- 15日 役員会
- 16日 経営協議会
学長と学生の懇話会
- 22日 第2回学生相談を考える会
役員会
- 24日 全学入学試験委員会
DNC管理・運営担当者会議
教育・学生委員会
- 26日 仕事納め

■ 学内規則

(平成20年12月22日制定)

- 弘前大学における組織評価の基本方針
- 弘前大学組織評価実施要項(平成20年度実施分)

(平成20年12月17日改正)

- 弘前大学保育園規程

入園者数の適正化を図るため、利用者の範囲を学部学生へも拡大する必要があることから、この規程の一部を改正した。

(平成20年12月22日改正)

- 弘前大学学則

現規則における授業料免除については、経済的理由によってのみ免除できているが、今後は、経済的理由以外の理由でも授業料免除を可能としたいことから、この規程の一部を改正した。

(平成20年12月26日改正)

- 弘前大学入学試験運営細則

出題グループ所属教員の選出方法を明確にするため、この細則の一部を改正した。

弘前大学学報第57号

弘前大学総務部総務課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172)36-2111